

博士学位論文

(要旨)

# 途上国における経済開発と国際観光

—東南アジア諸国の経験—

桜美林大学大学院

2007年9月

城前奈美

## 目次

序章 分析の枠組み	1
第1節 問題の所在	1
第2節 方法論	2
第3節 国際観光と産業の定義づけ	3
第I編 理論研究—経済開発と国際観光	
第1章 途上国経済における観光研究	6
第1節 途上国の経済開発	6
第2節 国際観光の需要と供給	7
第3節 開発途上国の観光研究	10
第2章 産業構造の変遷についての一考察	19
第1節 問題の所在	19
第2節 産業構造変化の経験法則	19
第3節 国際貿易とサービス貿易の理論的考察	21
第4節 観光サービスの国際貿易パターン	22
第5節 小括	26
第3章 経済開発のための観光開発	28
第1節 問題の所在	28
第2節 余剰はけ口論と潜在的比較優位の顕在化	29
第3節 2つのギャップ理論と観光による外貨獲得	32
第4節 小括	34
第4章 開発途上国における観光ブームの労働市場への影響	37
第1節 問題の所在	37
第2節 オランダ病について	38
第3節 観光ブームの適用	39
第4節 開発途上国への応用	40
第5節 小括	41
第II編 事例研究—タイを中心とする東南アジア諸国の経験—	
第5章 東南アジア諸国の経済開発と観光産業の役割	

	—貯蓄・投資ギャップおよび経常収支ギャップの視点から—	44
第1節	問題の所在と目的	44
第2節	経済開発のメカニズムと観光産業の役割	44
第3節	東南アジア諸国の経験 ～タイ・マレーシア・フィリピン・ インドネシアの貯蓄・投資ギャップと国際観光収入の比較～	48
第4節	小括	57
第6章	タイにおける観光産業開発の国家戦略	60
第1節	問題の所在	60
第2節	分析フレームワーク	60
第3節	国際観光収入による経済開発への効果	61
第4節	国家的戦略の経緯	63
第5節	小括	66
第7章	マレーシアにおける観光産業開発の国家戦略	69
第1節	問題の所在	69
第2節	国際観光収入による経済開発への効果	69
第3節	国家的戦略の経緯	70
第4節	小括	72
第8章	タイにおける観光産業開発の国家戦略（1）	
	—経済開発計画と観光行政について—	74
第1節	問題設定	74
第2節	NESDBによる経済社会開発計画の中の観光部門	76
第3節	観光関連の法的規制	79
第4節	TATによる観光政策	81
第5節	日本の国際援助による観光開発	84
第6節	小括	86
第9章	タイにおける観光産業開発の国家戦略（2）	
	—投資奨励策と外国企業規制法にみる外資導入政策—	88
第1節	問題設定	88
第2節	タイの経済開発と観光産業開発	88
第3節	先行研究と理論的考察	90
第4節	外国企業規制法と投資奨励法	91
第5節	ホテル投資と外資の受入	95

第6節	小括	97
第10章	タイ・韓国の通貨危機による観光産業へのインパクト	99
第1節	問題設定	99
第2節	アジア通貨危機の背景とその影響	100
第3節	タイと韓国の観光部門と輸出部門への経済効果	102
第4節	小括～為替変動による観光産業へのインパクトと産業政策のあり方	105
.		
第Ⅲ編	国際観光における多国籍企業の機能	
第11章	宿泊産業の対日直接投資に関する基礎研究	108
第1節	問題の所在	108
第2節	世界と日本の直接投資の推移	108
第3節	宿泊産業の対日直接投資統計	111
第4節	日本における宿泊産業の参入規制について	112
第5節	直接投資の経済学的理解	113
第6節	宿泊産業の直接投資の特色	115
第7節	直接投資研究の宿泊産業への応用	116
第8節	小括	117
終章	途上国における経済開発と国際観光	120
参考文献		125

<図表目次>

図1	世界の国際観光の推移	1
図2	国際観光収入の開発途上国への効果	1
表1-1	観光需要の弾力性	7
表1-2	観光資源の分類	8
表1-3	観光産業の特性一覧	9

表 2-1	経済発展パターン	20
表 2-2	サービス貿易の分類	22
図 2-1	1995 年 1 人当たり GDP と 1 人当たり旅行収入の関係	25
図 3-1	貿易の利益	31
図 4-1	一次産品ブームによる労働市場への影響	37
図 4-2	観光ブームによる労働市場への影響	39
図 4-3	開発途上国における観光ブームの労働市場への影響	40
図 5-1	貧困の悪循環	45
図 5-2	低位均衡の罠	45
図 5-3	タイ経済指標	49
図 5-4	タイの IS ギャップと観光収入の推移	50
図 5-5	国際観光収入の対財サービス輸出額比	51
図 5-6	マレーシアの経済指標	52
図 5-7	マレーシアの IS ギャップと観光収入の推移	53
図 5-8	フィリピンの経済指標	54
図 5-9	フィリピンの IS ギャップと観光収入の推移	54
図 5-10	インドネシアの経済指標	55
図 5-11	インドネシアの IS ギャップと観光収入の推移	56
表 6-1	タイ・マレーシアの IS ギャップと貿易の推移	63
表 6-2	タイ・マレーシアにおける観光の国家開発政策の経緯	64
表 8-1	タイにおける開発計画・法的制度の流れ	74
図 8-1	タイの国際観光客数の推移	75
図 8-2	訪タイ外客数及び国際観光収入	75
図 8-3	観光開発への国際協力	84
表 8-2	日本の観光協力の経緯	85
表 8-3	日本のタイへの観光分野における協力内容	86
表 9-1	タイにおける経済政策の経緯	89
表 9-2	外国企業規制法の流れ	91
図 9-1	タイの投資奨励区域	94
表 9-3	BOI 投資奨励ホテル	95

表 9-4	主要各都市の宿泊施設客室数とその稼働率の推移	96
図 9-2	海外直接投資（ネット）とBOI奨励認可客室数	96
図 10-1	タイの為替レートの推移	99
図 10-2	韓国の為替レートの推移	99
図 10-3	タイの国際収支の推移	101
図 10-4	韓国の国際収支の推移	101
図 10-5	タイの月別輸出額と受入観光客数の対前年比	103
図 10-6	1997年受入外客の居住地別シェア	103
図 10-7	韓国の月別輸出額と受入観光客数の対前年比	104
表 10-1	韓国の製品別輸出シェア	104
図 11-1	世界の直接投資の推移	109
図 11-2	対内直接投資の対GDP比（3カ国推移）	110
図 11-3	日本の直接投資の推移	110
表 11-1	直接投資の進出動機	114
図 11-4	資本の限界生産力と資本ストックの関係	115

## 博士學位論文要旨

「途上国における経済開発と国際観光—東南アジア諸国の経験—」 城前奈美

### 研究の背景

世界の国際観光者数は、航空技術の発達に伴い、1970年代以降急速に拡大し、1998年には6億2524万人、その取引額は4447億4100万米ドルとなっており、1970年のそれぞれ約3.5倍、17.8倍に伸びている。また、その取引額は、1997年世界の輸出額の12%を示しており、観光は国際取引の上でも一大成長産業となっている。そして、この影響は、開発途上国へも及んでいる。開発途上国の観光収入の世界全体に占める割合は、1991年に23%であり、開発途上国の輸出額の平均9%を記録している。

このような現象は、様々な学術的見地に議論をよんでいる。例えば、経済発展の段階と産業構造の変遷について、原（1996）は、低所得経済国の第3次産業の拡大は、「経済取引の拡大に失敗して、結果として都市部を中心に雑業といわれる活動が重要性を増大させているものであり、経済成長を支えるような経済活動が重みを増してきている訳ではない」と評価している。また、国際貿易論で定説となっている比較優位に関しても、観光交流はリカードモデルのように労働生産性の尺度で計れるのか、それとも、ヘクシャーオーレンモデルのように相対的な要素賦存量で決定するのか、もしくは観光資源が観光行動を決定する絶対優位なのか、などの議論がなされている。

特に、東南アジア諸国の1970年代以降の経済発展はめざましく、輸入代替工業化から輸出志向工業化への過程が研究されてきた。しかしながら、このような工業化だけでなく観光の振興も一方で貢献してきたのではないだろうか。東南アジア諸国にとって、近隣に経済発展を遂げ観光支出国となった日本が存在することも、その振興を支えてきたのではないだろうか。

### 問題設定

これらを背景に、第3次産業の中でも経済開発の初期段階に成長しうるサービス産業の1つとして、さらに、経済開発のために重要な役割を担っている産業の1つとして、観光産業が挙げられるのではないかと考える。そこで、本論文は、観光産業が経済開発の初期段階から拡大できるメカニズムを解明し、観光産業を切り口に産業構造変遷の法則に示唆を与える。

また、東南アジア諸国は、工業化の過程で、観光産業を並行して振興している。東南アジア諸国が、採用してきた輸出志向型工業化と並行して観光産業を開発した背景には何があるのだろうか。これを明らかにすることによって、観光産業の経済開発効果を改めて認識でき、さらに、東南アジア諸国の発展形態に1つの示唆をあたえることができると考える。

さらに、観光産業の拡大はどのようになされてきたのであろうか。豊富な観光資源を有

していても、特にインフラに乏しく、また、情報の不完全性をネックとしている経済開発の初期段階には、観光の活性化や産業化にはつながりにくい。途上国は、このような市場の不完全性や市場の未発達といった問題をどのように克服してきたのであろうか。経済開発の初期段階で観光の拡充を果たした東南アジア諸国の事例研究から、これらを明らかにすることで、学術的にも、また、今後の開発を期待する国についても、新たな指針を見出すことができると考える。

## 方法論・用語の定義づけ

本論文では、開発経済学、国際経済学の枠組みの中で、観光産業を捉えていく。経済発展過程において観光産業部門がどのように変遷するのか、理論的・実証的に解明していく上で、経済発展の段階とその一般的特徴を事前に整理しておく必要がある。経済発展過程は、要素賦存状況の変化から整理することとする。要素賦存状況は、相対的に労働力が豊富な状況（労働豊富国；開発初期段階）からスタートし、相対的に資本が豊富な状況（資本豊富国；開発後期段階）に転換していく国を想定する。したがって、諸島国家は当初から余剰労働力が存在しないため、これに該当しない。

本論文の構成は、Ⅰ 経済開発と国際観光の理論研究、Ⅱ タイを中心とする事例研究、Ⅲ 多国籍企業の機能研究の3編とする。事例研究は、1970年代から1990年代までの東南アジア諸国を対象とする。1970年代以降、航空技術が発達し、大量輸出と航空運賃の低廉化がもたらされ、この結果、世界の観光客が行き交い、国際観光が活性化した。タイを中心とする東南アジア諸国を事例対象とした理由は、1970年代以降経済発展を遂げ、かつ、世界的な国際観光の影響力を被ることができた国々に、東南アジア諸国を挙げることができるからである。

なかでも、タイを事例の中心とする理由は、タイが東南アジア諸国の中でも鉱物資源などの天然資源に恵まれず鉱物資源非保有国であるにもかかわらず、観光収入を着実に増大させ安定的に成長した国であるからである。これは本論文のなかで、東南アジア諸国との比較研究の上に成り立っている。

次に、観光産業の定義付けをしておく必要がある。なぜなら、観光産業は運輸、宿泊、旅行仲介、等、多業種で構成された複合体であるからである。本論文では、開発途上国の国際観光取引額に多く着目するため、国際観光取引額については、便宜上、IMFの国際収支統計にある観光取引額、および世界観光機関（World Tourism Organization）の国際観光取引額に準じて定義付けをすることとする。つまり、国際観光取引とは、国際観光に伴う航空機や船舶、鉄道などの国際移動のための取引を含まず、ホスト国内での人的運輸を含む取引の合計とする。つづいて、観光産業とは、これらの取引に携わる供給側の総体とする。観光産業は、宿泊業・運輸業・旅行業の三大業種から構成され、その他にも飲食業や娯楽施設業などの付随業種を含む。また、観光産業は、外需向けだけではなく、内需へも対応可能なものである。



本論文では、途上国の経済開発初期段階に焦点を当てるため、途上国民による観光需要（内需）を見込まず、外国人による観光需要（外需）を主とする。このことから、国際観光、特にインバウンド観光に着目することとなる。

## 仮説

研究の背景、問題の設定、方法論、先行研究の解題から、以下の3点の仮説を提示し、第Ⅰ編で理論研究、第Ⅱ編でその事例研究を行う。

- ①観光は、需要サイドから奢侈品であり、供給サイドから観光資源を特殊構成要素とし、相対的に労働集約的産業であると定義できる。このことから、観光は、途上国の賦存要素で賄える産業であり、途上国の対先進国輸出が可能であり、先進国に対して比較優位産業になれる。また、経済開発初期段階での観光の振興は国際競争力を有し効果が大きい。
- ②開発途上国の輸出志向型工業化の過程において、工業部門だけでなく、サービス部門の1つである観光部門の収入が、国際収支の制約の緩和に貢献し、安定的な発展を可能にさせる。
- ③経済開発の初期段階に観光振興を図るには、潜在的な観光資源を顕在化させる必要があり、そのためには、市場の不完全性を克服することが条件となる。

## 研究構成

経済開発と国際観光に関する理論的研究を始めるに際し、途上国経済における観光を扱った先行研究をまとめている（第1章）。途上国の経済発展については、ルイスの二重経済モデルやペティ＝クラークの法則を取り上げた。また、輸入代替工業化から輸出志向工業化への開発モデルの移行、および、アジア型の発展形態として雁行型経済発展について考察した。また、途上国が経済的離陸を果たせないネックとして近年、研究が進展している市場の不完全性についての研究を整理した。

また、経済学の見地から国際観光について解釈することを目的に、国際観光の需要と供給について整理した。これらの考察の結果、途上国における先進国からのインバウンド観光の流れを解釈することができた。さらに、国際観光が多彩な分野から研究されていることから、多方面からの研究を本論文に活かすことを目的に、途上国を事例とするそれぞれの分野の研究成果を整理している。

これらの先行研究から、途上国で国際観光需要が見込まれることが確認できた。これを受けて、第2章では、ペティ＝クラークの法則にある第1次産業から第2次、第3次産業への産業構造の変遷について疑問を投げかけ、第3次産業である観光産業の早期拡大と産業構造の変遷について考察した。この考察から、ペティ＝クラークの法則では閉鎖経済を前提としていることから国内需要に勘案した発展がみられることが明らかとなった。したがって、より現実的に開放経済を前提とする場合、国際貿易論の比較優位に整合した産業構造の変遷となることを示した。つまり、それは、要素賦存状況が労働豊富国から資本豊

富国へ移行していくことから、それに見合った貿易構造ならびに産業構造の変遷を辿るといふことである。観光産業は労働集約的産業である（第1章）という特徴を加味すると、途上国の経済開発初期段階で、第3次産業に属する観光産業の発展が望めることが確認された。

途上国の経済開発初期段階での観光産業の拡大は、開発経済学の見地からどのような効果や影響をもつのであろうか。余剰はけ口論から示唆は、余剰となっていた観光資源や余剰労働力を用いた開発が可能であることが示された。また、鉱物資源を保有しない開発途上国にとっては、輸出源となり外貨獲得効果をもつことが、2つのギャップ理論から考察された。途上国は、輸出志向型工業化の過程では原材料や中間材料を輸入するための外貨や、工業化への必要投資を、工業製品の輸出が軌道に乗るまで鉱物資源や農林水産物などの一次産品輸出に頼らざるを得ない。観光産業による外貨獲得は、この輸出志向型工業化の促進につながることを示され、とくに鉱物資源を有しない途上国にとってはこれが大きく左右することが示された（第3章）。

また、観光資源にはテーマパークや産業施設など近代的な生産物もあるが、自然資源や歴史的建造物など開発途上国にも存在するものも含まれ、観光産業は開発途上国にとって工業部門のように原材料や中間材料に左右されない産業である。しかしながら、インフラが整備されず、制度も確立されていない地域へは、市場メカニズムが成り立たず、産業が成立せず、多くの観光客を見込めない。それは、言い換えれば、市場が未発達であるために、恵まれた観光資源を持ち潜在的な観光需要を持ちつつも、観光資源が顕在化しないといふことである。

このことから、政府の市場発達に関わる介入の可否が、その後の観光振興を左右することを説明する。この介入は、市場の発達を誘発、促進するものであり、その手法は優先的インフラの整備、法的整備、企業誘致、などである。

これらの市場の発達を促す措置は、潜在的な観光需要を顕在化させ、かつ、開発途上国で抱える余剰労働力を吸収し、市場としての機能が整備されていくといえる。

そして、経済発展の初期段階でのこれらの開発による観光振興は、価格面での国際競争力を有し、かつ、輸出志向型工業化と並行して進める際には、外貨不足や貯蓄不足に起因する経済の停滞に陥ることなく、安定的に持続可能な発展を期待できる。経済発展の早い段階では、資金面での債務を増すことになるかもしれないが、外部経済性の高いインフラに費やすことによって、負担を軽減させることができる。

第4章では、途上国における観光ブームの労働市場への影響について、オランダ病仮説を用いて検証した。そして、余剰労働力を有する経済においては、賃金を上昇させず工業部門を縮小させないことが示された。ただし、労働力の熟練性を考慮する場合には、工業部門の縮小に影響を与えるかもしれないことも示された。

これらの理論的検証を踏まえ、第II編ではタイを中心とする東南アジア諸国の事例研究をしている。まず、タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシアを対象とし、1970年代

から 1990 年代までの貯蓄・投資ギャップおよび国際収支ギャップと観光収入の推移を観察し、各国の特徴を示した（第 5 章）。これらの考察の結果、マレーシアやインドネシアのように鉱物資源を豊富に保有し、それらを輸出する国々は、貯蓄・投資ギャップや国際収支ギャップの 2 つのギャップに直面することがほとんどなく、工業化を始動することができた。これに対し、タイやフィリピンのように豊富な鉱物資源を保有せず輸出品を農林水産物などに頼らざるを得ない国々では、外国投資を受け入れることによって 2 つのギャップを拡大させたが、観光収入によってそれらのギャップの縮小に貢献できることが分かる。

鉱物資源を特に有しないタイとフィリピンでは、この 2 つのギャップの緩和に貢献する観光収入の推移については、相違が見られた。タイにおける観光収入は、貯蓄・投資ギャップの額の推移と同規模に拡大しているのに対し、フィリピンにおける観光収入は、貯蓄・投資ギャップほどには拡大せず、タイと比べてギャップへの貢献度が小さかった。これは、言い換えれば、フィリピンにおける外国投資や借款の受入が観光収入を含む財サービス輸出の規模以上に拡大していたということができる。

以上の考察から、4 カ国の比較において、タイにおける観光産業の経済開発への貢献は大きいと云える。なぜなら、貯蓄・投資ギャップの拡大に伴い国際観光収入が着実に増加したことで、安定的に輸出志向型工業化を支えてきたからである。しかしながら、外貨獲得の源泉である輸出額に占める国際観光収入の割合は、1988 年を契機に減少している。これは、工業製品の輸出額の増加によるものであり、国際観光収入の貯蓄・投資ギャップの緩和剤としての外貨獲得の貢献が薄れていることを示唆している。

以上の 4 カ国の比較を踏まえて、とくに輸出源となる鉱物資源を有しないタイ（第 6 章）と、石油や天然ゴムといった輸出源を有するマレーシア（第 7 章）の 2 カ国の観光収入増大の背景を考察した。両国ともに産業主体の開発のみでなく、国家の戦略的な取り組みが両国でなされていたことが確認された。発達した市場をもつ経済と違い、途上国では潜在的な観光資源を顕在化させ、観光産業を活性化させるためには、潜在的な観光資源を有する観光開発地域へのハード面、ソフト面双方におけるインフラ整備が優先的になされなければならない。インフラ整備は、市場が形成され発達するための必要条件となる。多額の資本を費やす空港、道路、上下水道などのインフラ整備に充当する資金源に乏しい途上国では、一度に全国規模でインフラ整備を進めることは難しい。したがって、重点的地域からこれを進めざるを得ない。タイの経験のように、経済開発の初期段階で、潜在的観光地域へ優先的にインフラ整備が行われたことは、サービス輸出産業として観光産業を振興させる基盤をつくりあげた。そして、それは外貨獲得の糧となり、工業化におけるマクロ経済の不安定性を克服することに貢献することができたのである。

また、途上国政府の観光開発への介入と観光産業の発展との因果関係について、少なくともタイとマレーシアにおいては、政府の観光開発への比重増強と国際旅行収入の増加に相関があることから、国家的な戦略が重要であるといえる。その国家的戦略に共通する要素は、優先的インフラ整備、プロモーション、外資系観光企業の誘致、教育（トレーニング

グ)である。これらの要素を途上国政府が開発計画に盛り込み実行することが、観光産業の発展、そしてマクロ経済の安定性のため必要であるといえる。

特に、タイとマレーシアの比較から整理すると、資源に乏しい途上国は、工業化とともに観光産業の優先的開発戦略が効果的であり、工業製品の輸出が拡大されるまでの期間を観光収入が収入源として補完し、工業化を潤滑に進行させるといえる。

タイでは第7次計画以降、観光産業は経常収支対策だけでなく、内需に目を向けた開発へ力を入れつつある。これは、外貨獲得を目的とした経済開発のための観光開発とともに、経済発展に伴う内需の消費拡大のための観光開発へ、政策的志向が変化しつつあると示唆できた。

これらの視点は、第8章でタイにおける観光政策の詳細について言及したことに基づく。タイ政府観光庁(TAT)が国家経済社会開発庁(NESDB)の作成した国家経済社会開発5カ年計画を遂行してきた。TATが実施してきた政策は、経済的に開発途上の段階でも可能な事例であり、他の途上国の開発政策の策定に際しても有意義なものとなる。

さらに、タイは、法的に為替管理や外資導入についてさまざまに規制し、外貨の漏えいをできる限り抑制してきた。これらは日本では経験されなかったことであるが、観光産業が世界的に普及した後の途上国に可能な事例であり、今後、例えば、ベトナムやカンボジア、ラオス、ミャンマーなどの後発途上国へ応用されていくものである。

また、政府の資金不足、技術不足に関しては、外国からの援助の可能性があることをタイの経験が示してくれた。しかしながら、観光開発のための資金援助は、貯蓄・投資ギャップを拡大させる要因となるため、外部性の高いインフラに向けられるべきであり、ホテルなどのインフラ投資にはできる限り民間企業に委ねるべきである。日本からの途上国援助は、近年、観光開発という枠組みから地域開発という枠組みへ移行されており、外部性の高い観光インフラ整備へ費やされるようになっていく。

第9章では、タイの国際観光を推進するために、タイ政府が外資導入政策をどのように図ってきたかを時代背景とともに考察した。タイ政府が国内利潤を保護する目的で外国企業規制法を施行したことは、過剰な外資系ホテルの投資開発を抑制する働きをもった。その一方で、投資奨励法の施行は地域性を考慮した観光開発を推し進めることができた。この政府主導の観光産業開発は、結果的に観光の潜在需要をもつ地域に観光市場の顕在化を図り、かつ、ホテル供給について過剰な開発を抑え「市場の失敗」を未然に防ぎ、持続可能な開発を進行してきたといえる。

外国企業規制法と投資奨励法の2つの法的な措置が、観光産業の中でもタイ国内資本ホテルや外資ホテル、投資奨励を受けたホテルにどのように影響してきたか、そしてそれらを比較して収益や生産性に相違が見られるのかを実証分析することは、政策的志向をより深く検証することを可能にするが、統計上の不備により断片的な考察をするにとどまった。

タイは、経済発展とともに諸外国から自由化への圧力を受けながら、他の産業と同様に観光産業についても規制緩和が進むものと推察できる。この規制緩和により、より多くの

外国人や外国企業が参入し、競争が激化するであろう。これに伴って、法的な保護政策のもとに育成されてきた国内資本企業の競争力が問われることとなる。

また、この第Ⅱ編の最後に、1997年に発生したアジア通貨危機の影響を無視することはできないことから、タイ・韓国の通貨危機による観光産業へのインパクトを検証した（第10章）。

このように、第Ⅱ編ではタイを中心とする東南アジア諸国の経済開発と国際観光の関係について考察してきた。第Ⅰ・Ⅱ編を通して、国際観光の経済開発における役割が検証され、また、国家の市場への積極的介入が、市場の不完全性を克服し、国際観光の拡大と経済開発における貢献をもたらしたことが示された。最後に、途上国経済における国家の役割は提唱されたが、民間の役割はあったのであろうか。第Ⅲ編では、観光産業における多国籍企業の機能を把握し、多国籍企業が国際観光の拡大に貢献する役割について考察している。これは宿泊産業の対日直接投資に関する研究成果を整理し、途上国における観光産業の多国籍企業の機能を把握するための指標となることを目的とした（第11章）。

## 結論

本研究から、開発途上国も先進国と同様に、観光産業の比較優位を持つことが示され、経済開発の初期段階での観光振興は、国際競争力を有し効果が大きいことが、第1章で示され、第5章で検証された。また、東南アジア諸国の経験から、途上国の輸出志向型工業化の過程は、工業部門だけでなく、サービス部門の1つである観光部門の収入によって、国際収支の制約が緩和され安定的な発展を可能にさせることが証明された。しかも、鉱物資源非保有国は、鉱物資源保有国に比べてその効果がより期待できるといえる。

また、経済開発の初期段階に観光振興を図るには、途上国に特有の市場の未発達を克服し潜在的な観光資源を顕在化させる必要がある。その手法は、タイの経験から重点地域への優先的なインフラ投資、潜在観光地への投資奨励、法的整備などが確認できた。特に、投資奨励や外国企業規制を採った外資導入政策は、地方の観光市場の創設と観光収入の拡大に寄与した点が目覚しい。

これらの研究成果は、アジア型経済発展の形態に1つの示唆をもたらし、新規ASEAN加盟国であるベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーなどへ応用されることを期待したい。

## 謝辞

本論文の作成にあたり、岩井清治先生(桜美林大学教授)、中崎茂先生(桜美林大学教授)、トラン・ヴァン・トゥ先生(早稲田大学教授・桜美林大学客員教授)、徳久球雄先生(桜美林大学名誉教授)に長年に亘り指導いただいた。この場をお借りしてお礼申し上げたい。

また、タイでの実地調査に際しては、修士課程同期のチャトリー・ウィソラナスティさんやパニタ・スティスパキットさんが、タイ投資委員会や政府観光庁、数社の観光事業者

やパタヤ地区観光事務所とのインタビューや資料収集に有意義な接点を設けてくれた。資料収集やインタビューを快く受けてくれた政府関係者、ならびに、事業関係者とともに、厚くお礼申し上げたい。

## 主要参考文献

### 日本語文献

- 今西珠美 (1997) 「旅行企業の海外進出における国際経営行動」『第3回学術研究論文入選  
論文集』財団法人アジア太平洋観光交流センター
- 入谷盛宣 (編) (1988) 『新版マレーシアの投資関連税制便覧』アジア経済研究所
- 入谷盛宣 (編) (1989) 『新版タイの投資関連税制便覧』アジア経済研究所
- 絵所秀紀 (1997) 『開発の政治経済学』日本評論社
- 大山道広／寺西重郎 (編) (1989) 『国際金融・貿易講義』東洋経済新報社
- 小沢健市 (1992) 『観光の経済分析』文化書房博文社
- 小沢健市 (1994) 『観光を経済学する』文化書房博文社
- 唐澤延行 (1981) 「国際収支と対外債務の動向」『アジアの経済成長と構造変動』中央大学  
経済研究所 (編) 中央大学出版部 pp.329～368
- 河原康之 (編) (1983) 『マレーシアの投資関連税制便覧』アジア経済研究所
- S.クズネッツ (著) 塩野谷祐一 (訳) (1968) 『近代経済成長の分析 (上・下巻)』東洋経  
済新報社
- P.R.クルグマン／M.オブズフェルド (著) 石井菜穂子他 (訳) (1990) 『国際経済 理論と  
政策 I 国際貿易』新世社
- 小島清 (1991) 「多国籍企業の内部化理論」池間誠・池本清 (編) 『国際貿易・生産論の新  
展開』12章、文眞堂
- 小島清 (2003) 『雁行型経済発展論 (第1巻)』文眞堂
- 小林通 (1992) 「サービス貿易としての旅行収支の役割」『研究年報(4)1992』日本大学  
短期大学 pp.45～54
- コーリン・クラーク (著) 大川一司他 (訳編) (1953) 『経済進歩の諸条件(上)(下)』劉草  
書房
- 佐々波楊子・浦田秀次郎 (1990) 『サービス貿易 一理論・現状・課題一』東洋経済新報社
- サーマート・チアサクーン／チュウター・マナットパイブーン／吉田幹正 (編) (1989) 『タ  
イの1980年代経済開発政策』アジア経済研究所
- 塩田正志／長谷政弘 (編) (1994) 『観光学』同文館出版
- 篠崎彰彦／乾友彦／野坂博南 (1998) 『日本経済のグローバル化-対内外直接投資と貿易構  
造の実証分析』東洋経済新報社
- 篠原三代平 (1966) 『産業構造論』筑摩書房
- 四宮由紀子 (1998) 「日本ホテル企業の海外展開について」『星陵台論集』vol.31 No.2 pp.1  
～19
- 四宮由紀子 (2001) 「日本ホテル企業の海外展開のプロセス：航空系と鉄道系ホテル会社  
の事例研究」『商経学叢』vol.47 No.3 pp.145～170

- 城前奈美 (1996) 「経済開発と国際観光産業」 桜美林大学大学院修士論文
- 城前奈美 (1999) 「産業構造の変遷についての一考察 —開発途上国の観光産業の拡大を中心に—」 『桜美林国際学論集M a g i s 第4号』 桜美林大学大学院国際学研究科 pp.151~159
- 城前奈美 (2000) 「タイの経済開発と観光産業の役割 —貯蓄・投資ギャップの視点から—」 『日本観光学会誌 第36号』 日本観光学会 pp.40~47
- 眞保潤一郎 (1990) 「経済開発における観光産業の効用」 『研究報告 第21号』 日本観光学会 pp.83~92
- ソーティトーン・マリカマート/ティタナーン・マリカマート (1995) 「2000年までのタイの貯蓄・投資ギャップ」 『2000年に向けてのタイ経済』 アジア経済研究所 pp.9~34
- 高橋哲雄 (1978) 『産業論序説』 実教出版
- 高橋良子/大山剛 (2000) 「近年の対内直接投資増加の背景」 『日本銀行調査月報』 2000年8月号 pp.1-11
- 高木保興 (1992) 『開発経済学』 有斐閣
- 高梨和紘 (編著) (1995) 『タイ経済の変容と政策課題』 文眞堂
- ダグラス G. ピアス/リチャード W. バトラー (編著) 安村克己 (監訳) (1995) 『観光研究の批判的挑戦』 青山社
- 竹内洋 (編) (1994) 『最新版マレーシアの投資関連税制便覧』 アジア経済研究所
- 駄田井正 (編著) (2001) 『21世紀の観光とアジア・九州』 九州大学出版会
- 東京銀行調査部 (1994) 『国際収支の経済学』 有斐閣
- 徳久球雄 (編) (1995) 『環太平洋地域における国際観光』 嵯峨野書院
- トダロ, マイケル P./スミス, ステファン C. (2004) 『トダロとスミスの開発経済学』 国際協力出版会
- トラン・ヴァン・トウ (1992) 『産業発展と多国籍企業 アジア太平洋ダイナミズムの実証研究』 東洋経済新報社
- 中崎茂/Vera Mackie (2001) 「日本と東南アジア：労働とレジヤーの国際分業」 『流通経済大学社会学部論叢 Vo.12, No.1』 pp.111~126
- 西岡久雄 (編著) (1996) 『観光と地域開発』 内外出版
- パスク・ポンパイチット/糸賀滋 (編) (1993) 『タイの経済発展とインフォーマルセクター』 アジア経済研究所
- 原洋之助 (1996) 『開発経済論』 岩波書店
- バンコク日本人商工会議所 (1991) 『第7次経済社会開発計画フレームワーク (概要) 1992~1996』 バンコク日本人商工会議所
- 平塚大祐 (1983) 「タイ経済の貯蓄投資ギャップ分析」 『アジアトレンド 22号 1983春』 アジア経済研究所 pp.75~89
- 深尾京司・天野倫文 (2004) 『対日直接投資と日本経済』 日本経済新聞社



- 堀内昭義（編）（1991）『累積債務と財政金融』アジア経済研究所
- マイケル P. トダロ／ステファン C. スミス（2004）『トダロとスミスの開発経済学』国際協力出版会
- 松井謙（1977）『第三世界の開発と金融』新評論
- 松岡潔（編）（1983）『発展途上国の債務累積問題』アジア経済研究所
- 末武直義（1990）「観光の経済効果」『月刊観光 1990.7月号』日本観光協会 pp.2～6
- 宮沢健一（1987）『産業の経済学』東洋経済新報社
- 山上徹（編著）（1997）『国際観光マーケティング』白桃書房
- 横山久（1987）「輸出主導工業化論と「オランダ病」」『アジア経済 Vol.28 No.10』アジア経済研究所 pp.30～39
- 横山久（1989）「途上国経済とオランダ病」『アジア経済 Vol.30 No.1』アジア経済研究所 pp.51～59
- ワリン・ウォンハンチャオ／池本幸生（編）（1988）『タイの経済政策 一歴史・現状・展望一』アジア経済研究所

#### 英語文献

- Ayudhya, Sivavudh Devahastin Na/Sirisopak Buraphadeja/Sumalee Chivamit (ed.) (1982) *The Impact of Transnational Companies in the Hotel and Tour Business* Chulalongkorn Uni. Social Research Institute
- Balassa, B. (1964) "The Purchasing Power Parity Doctrine: A Reappraisal" *The Journal of Political Economy* pp.584～596
- Baretje, René (1982) "Tourism's External Account and The Balance of Payments" *Annals of Tourism Research Vol.9* pp.57～67
- Benjamin, N.C., S.Devarajan and R.J.Weiner (1989) "The 'Dutch' Disease in a Developing Country" *Journal of Development Economics 30* pp.71～92
- Bhagwati, Jagdish N. (1984) "Why are Services Cheaper in the Poor Countries?" *Economic Journal 94* pp.279～286
- Bhatia, A.K. (1991) *International Tourism: Fundamentals and Practices* Sterling Publishers Pvt.
- Britton, Stephen G. (1982) "The Political Economy of Tourism in the Third World" *Annals of Tourism Research Vol.9* pp.331～358
- Brohman, John (1996) "New Directions in Tourism for Third World Development" *Annals of Tourism Research Vol.23 No.1* pp.48～70
- Buckley, Peter J. and Necla V.Geyikdagi (1993) "Tourism and Foreign Currency Receipts" *Annals of Tourism Research Vol.20* pp.361～364
- Bull, Adrian (1990) "Australian Tourism -Effects of Foreign Investment-" *Tourism*

- Management Dec.1990* pp.325~331
- Bull, Adrian (1995) *The Economics of Travel and Tourism (2nd edition)* Longman, 諸江哲男他(訳)(1998)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社
- Cater, Erlet A. (1987) "Tourism in the Least Developed Countries" *Annals of Tourism Research Vol.14* pp.202~226
- Caves, R. E. (1982) *Multinational Enterprise and Economic Analysis* Cambridge University Press
- Chib, S.N. (1980) "Financing Tourism Development : A Recipient's View" *International Journal of Tourism Management Dec.1980* pp.231~237
- Chon, Kye-Sung , Amrik Singh, and James R.Mikula (1993) "Thailand's Tourism and Hotel Industry" *The Cornell Hotel & Restaurant Administration Quarterly Vol.34 No.3* pp.43~49
- Clancy, Michael J. (1999) "Tourism and Development" *Annals of Tourism Research Vol.26* pp.1~20
- Clarke, Harry R. (1993) "Tourism, Economic Welfare and Efficient Pricing" *Annals of Tourism Research Vol.20* pp.613~632
- Cohen, Erik (1988) "Tourism and Aids in Thailand" *Annals of Tourism Research Vol.15* pp.467~486
- Copeland, Brian R. (1991) "Tourism, Welfare and De-industrialization in a Small Open Economy" *Economica 58* pp.515~529
- Corden, W.M. (1984) "Booming Sector and Dutch Disease Economics: Survey and Consolidation" *Oxford Economic Papers 36* pp.359~380
- Corden, W.Max and J.Peter Neary (1982) "Booming Sector and De-Industrialisation in a Small Open Economy" *The Economic Journal 92* pp.825~848
- Culpan, Refik (1987) "International Tourism Model for Developing Economies" *Annals of Tourism Research Vol.14* pp.541~552
- Daengbuppha, Jaruwat (1994) "The Tourism Industry" *Bangkok Bank Monthly Review Vol.35 No.4 April 1994* pp.23~27
- Dearden, Philip (1991) "Tourism and Sustainable Development in Northern Thailand" *The Geographical Review Vol.81* pp.400~413
- Diamond, J. (1977) "Tourism's Role in Economic Development: The Case Reexamined" *Economic Development and Cultural Change 25* pp.543~553
- Dornbusch, David M. and Claudia J.Kawczynska (1992) "Tourist Oriented Directional Signs: A Self-Supporting Program to Promote Rural Business and Economic Development" *Journal of Travel Research Vol.31 No.1* pp.3~9
- Dwyer, Larry and Forsyth, Peter (1994) "Foreign Tourism Investment –Motivation and

- Impact” *Annals of Tourism Research Vol.21* pp.512~537
- Eadington, William R. and Milton Redman (1991) “Economics and Tourism” *Annals of Tourism Research Vol.18* pp.41~56
- Elliott, James (1987) “Government Management of Tourism -A Thai Case Study-” *Tourism Management Sep.1987* pp.223~232
- Ethier, Wilfred J. (1986) “The Multinational Firm” *Quarterly Journal of Economics 101* pp.805-833
- Fleming, William R. and Lorin Toepper (1990) “Economic Impact Studies : Relating the Positive and Negative Impacts to Tourism Development” *Journal of Travel Research Vol.29 No.1* pp.35~42
- Forsyth, Timothy J. (1995) “Tourism and Agricultural Development in Thailand” *Annals of Tourism Research Vol.22* pp.877~900
- Gartner, William C. (1996) *Tourism Development -Principles, Processes and Policies-* Van Nostrand Reinhold
- Go, Frank M. and Ray Pine (1995) *Globalization Strategy in the Hotel Industry*, Routledge 安室憲一監訳 (2002) 『ホテル産業のグローバル戦略』白桃書房
- Go, Frank M. and Carson L.Jenkins ed. (1997) *Tourism and Economic Development in Asia and Australasia* Pinter
- Golembiski, Grzegorz (1990) “Tourism in the Economy of Shortage” *Annals of Tourism Research Vol.17* pp.55~68
- Gray, H.Peter (1970) *International Travel -International Trade-* Heath Lexington Books
- Hammes, David L. (1994) “Resort Development Impact on Labor and Land Markets” *Annals of Tourism Research Vol.21* pp.729~744
- Handzuh, Henryk (1992) “Trade in Tourism Services under the Uruguay Round” *Tourism Management Sep.1992* pp.263~266
- Harrison, David ed. (1992) *Tourism & The Less Developed Countries* Halsted Press
- Hobson, J.S.Perry, Vincent C.S.Heung and Kye-Sung Chon (1994) “Vietnam’s Tourism Industry: Can It Be Kept Afloat?” *The Cornell Hotel & Restaurant Administration Quarterly Oct 1994* pp.42~49
- Hughes, Howard L. (1981) “A Tourism Tax - The Cases For and Against” *International Journal of Tourism Management Sep.1981* pp.196~206
- Hymer, S. H. (1976) *The International Operations of National Firms : A Study of Direct Foreign Investment* MIT Press 宮崎義一 (編訳) (1979) 『多国籍企業論』岩波書店
- Ingram, C.Denise and Patrick B.Durst (1989) “Nature-Oriented Tour Operators: Travel to Developing Countries” *Journal of Travel Research Vol.28 No.2* pp.11~15

- Inskeep, Edward (1994) *National and Regional Tourism Planning: Methodologies and Case Studies* World Tourism Organization
- Jenkins, C.L. (1982a) "The Use of Investment Incentives for Tourism Projects in Developing Countries" *Tourism Management June 1982* pp.91~107
- Jenkins, C.L. (1982b) "The Effects of Scale in Tourism Projects in Developing Countries" *Annals of Tourism Research Vol.9* pp.229~249
- Jenkins, C.L. and B.M.Henry (1982c) "Government Involvement in Tourism in Developing Countries" *Annals of Tourism Research Vol.9* pp.499~521
- Johnson, Rebecca L., Fred Obermiller and Hans Radtke (1989) "The Economic Impact of Tourism Sales" *Journal of Leisure Research Vol.21 No.2* pp.140~154
- Jud, G.Donald and Walter Krause (1976) "Evaluating Tourism in Developing Areas: An Exploratory Inquiry" *Journal of Travel Research Vol.15 No.2* pp.1~9
- Keith, John , Christopher Fawson and Tsangyao Chang (1996) "Recreation as an Economic Development Strategy : Some Evidence from Utah" *Journal of Leisure Research Vol.28 No.2* pp.96~107
- Kindleberger, Charles P. (1969) *American Business Abroad* Yale University Press
- Kravis, I and R.Lipsey (1983) *Toward an Explanation of National Price Levels* Princeton Studies in International Finance
- Kravis, I., A.Heston and R.Summers (1982) "The Share of Services in Economic Growth" in F.G.Adams and Bert Hickman (eds.) *Global Econometrics: essays in Honor of Lawrence R.Klein*
- Leatherman, John C. and David W.Marcouiller (1996) "Income Distribution Characteristics of Rural Economic Sectors: Implications for Local Development Policy" *Growth and Change Vol.27* pp.434~459
- Lee, Gabriel P. (1987) "Tourism as a Factor in Development Cooperation" *Tourism Management Mar.1987* pp.2~19
- Liu, Z.(1998) "Tourism and Economic Development : A Comparative Analysis of Tourism in Developed and Developing Countries" in C.A.Tisdell and K.C.Roy(eds) *Tourism and Development : Economic, Social, Political and Environmental Issues* Nova Science Publishers pp.21~37
- Lundberg, Donald E., M.Krishnamoorthy and Mink H.Stavenga (1995) *Tourism Economics* John Wiley & Sons
- Mackie, Vera (1992) "Japan and South-East Asia" in Harrison, in David (ed) *Tourism and the Less Development Countries* Belhaven Press London, 中崎茂 (訳) (2001) 「日本と東南アジア : 労働とレジャーの国際分業」流通経済大学社会学部論叢第 12 巻第 1 号 pp.111~126

- Mak, James and Kenneth White (1992) "Comparative Tourism Development in Asia and the Pacific" *Journal of Travel Research Vol.31 No.1* pp.14~23
- Manning, Edward W. and T.David Dougherty (1995) "Sustainable Tourism -Preserving the Golden Goose-" *The Cornell Hotel and Restaurant Administration Quarterly Apr 1995* pp.29~42
- March, Roger (1997) "Diversity in Asian Outbound Travel Industries : A Comparison between Indonesia, Thailand, Taiwan, South Korea and Japan" *Journal of Hospitality Management Vol.16* pp.231~238
- Matthews, Harry G. (1978) *International Tourism -A Political and Social Analysis-* Schenkman Publishing Com.
- Mattila, Anna (1997) "Investment Returns and Opportunities for Hotels in Asia -A Comparison of Money-Partners' Expectations-" *The Cornell Hotel and Restaurant Administration Quarterly Feb 1997* pp.72~78
- McQueen, Matthew (1983) "Appropriate Policies Towards Multinational Hotel Corporations in Developing Countries" *World Development Vol.11 No.2* pp.141~152
- Meier, Gerald M. (1980) *International Economics* Oxford University Press 松永宣明 (訳) (1985) 『国際経済学－貿易と開発の政策理論』 文眞堂
- Myrdal, G. (1974) *Against the Stream: Critical Essays on Economics* Macmillan
- National Economic and Social Development Board, Thailand (1982) *The 5th National Economic and Social Development Plan(1982~1986)* NESDB, Thailand
- National Economic and Social Development Board, Thailand (1987) *The 6th National Economic and Social Development Plan(1987~1991)* NESDB, Thailand
- National Economic and Social Development Board, Thailand (1992) *The 7th National Economic and Social Development Plan(1992~1996)* NESDB, Thailand
- National Economic and Social Development Board, Thailand (1997) *The 8th National Economic and Social Development Plan(1997~2001)* NESDB, Thailand
- National Printing Department, Kuala Lumpur (1981) *Fourth Malaysia Plan 1981-1985* National Printing Department, Kuala Lumpur
- Dicetak Oleh Jabatan Percetakan Negara, Kuala Lumpur (1984) *Mid-term Review of the Fourth Malaysia Plan 1981-1985* Dicetak Oleh Jabatan Percetakan Negara, Kuala Lumpur
- National Printing Department, Kuala Lumpur (1986) *Fifth Malaysia Plan 1986-1990* National Printing Department, Kuala Lumpur
- National Printing Department, Kuala Lumpur (1989) *Mid-term Review of the Fifth Malaysia Plan 1986-1990* National Printing Department, Kuala Lumpur

- National Printing Department, Kuala Lumpur (1991) *Sixth Malaysia Plan 1991-1995*  
National Printing Department, Kuala Lumpur
- Percetakan Nasional Malaysia Berhad, Headquarters, Kuala Lumpur (1996) *Seventh Malaysia Plan 1996-2000* Percetakan Nasional Malaysia Berhad, Headquarters, Kuala Lumpur
- Nelson, R.R. (1956) "A theory of low-level equilibrium trap in underdeveloped economies" *American Economic Review* pp.894-908
- Nurkse, R. (1953) *Problems of capital formation in underdeveloped countries* Oxford University Press 土屋六郎(訳) (1966) 『後進国の資本形成』改訳版 巖松堂書店
- Oppermann, Martin (1992) "Intranational Tourist Flows in Malaysia" *Annals of Tourism Research Vol.19* pp.482~500
- Oppermann, Martin (1993) "Tourism Space in Developing Countries" *Annals of Tourism Research Vol.20* pp.535~556
- Oppermann, Martin and K.S. Chon (1997) *Tourism in Developing Countries* International Thomson Business Press, 内藤嘉昭(訳) (1999) 『途上国観光論』学文社
- Peleggi, Maurizio (1996) "National Heritage and Global Tourism in Thailand" *Annals of Tourism Research Vol.23* pp.432~448
- Powers, Terry A. (1976) "Economic Appraisal of International Tourism Projects" *Journal of Travel Research Vol.15 No.2* pp.10~13
- Qu, Hailin and Hanqin Qiu Zhang (1996) "Projecting International Tourist Arrivals in East Asia and the Pacific to the Year 2005" *Journal of Travel Research Vol.35 No.1* pp.27~34
- Ratanakomut, Somchai (1995) "Industrializing the Service Sector with Special Emphasis on Tourism" Medhi Krongkaew ed. *Thailand's Industrialization and its Consequences* St.Martin's Press
- Reynolds, P. (1989) "Hotel Developments in South-East Asia and China" in C.P.Cooper(eds.) *Progress in Tourism, Recreation and Hospitality Management Vol.1* John Wiley & Sons pp.206~211
- Richter, Linda K. (1989) *The Politics of Tourism in Asia* University of Hawaii Press
- Richter, Linda K. and William L.Richter (1985) "Policy Choices in South Asian Tourism Development" *Annals of Tourism Research Vol.12* pp.201~217
- Riley, M. (1991) "An Analysis of Hotel Labour Markets" in C.P.Cooper(eds.) *Progress in Tourism, Recreation and Hospitality Management Vol.3* John Wiley & Sons pp.232~246
- Ritchie, J.R.Brent and Charles R.Goeldner (ed.) (1994) *Travel, Tourism, and*

- Hospitality Research -A Handbook for Managers and Researchers-* John Wiley & Sons
- Rostow, W.W (1960) *The stages of economic growth* Cambridge University Press, 木村健康・久保まち子・村上泰亮(訳) (1961)『経済成長の諸段階』ダイヤモンド社
- Samuelson, Paul A. (1964) “Theoretical Notes on Trade Problems” *Review of Economics and Statistics* pp.145~154
- Schansman, Ronald O. (1991) “Indonesia 1991: Tourism to the Archipelago” *The Cornell Hotel & Restaurant Administration Quarterly Oct 1991* pp.84~91
- Shaw,G. and A.M.Williams (1990) “Tourism, Economic Development and the Role of Entrepreneurial Activity” in C.P.Cooper(eds.) *Progress in Tourism, Recreation and Hospitality Management Vol.2* John Wiley & Sons pp.67~81
- Sinclair, M.Thea and Asrat Tsegaye (1990) “International Tourism and Export Instability” *The Journal of Development Studies Vol.26* pp.487~504
- Sinclair, M.Thea and M.J.Stabler ed. (1991) *The Tourism Industry: An International Analysis* CAB International
- Sinclair, M.T. (1991) “The Economics of Tourism” in C.P.Cooper(eds.) *Progress in Tourism, Recreation and Hospitality Management Vol.3* John Wiley & Sons pp.1~27
- Sinclair, M.Thea (1992) “Tourism, Economic Development and the Environment: Problems and Policies” in C.P.Cooper(eds.) *Progress in Tourism, Recreation and Hospitality Management Vol.4* John Wiley & Sons pp.75~81
- Sinclair, M.Thea and Mike Stabler (1997) *The Economics of Tourism* Routledge 小沢健市 (監訳) (2001)『観光の経済学』学文社
- Sinclair, M.Thea (1998) “Tourism and Economic Development : A Survey” *The Journal of Development Studies* pp.1~51
- Smith, Stephen L.J. (1995) *Tourism Analysis: A Handbook (2nd edition)* Longman
- Smith, Valene L. and William R.Eadington ed. (1994) *Tourism Alternatives -Potentials and Problems in the Development of Tourism-* John Wiley & Sons, 安村克己他 (訳) (1996)『新たな観光のあり方-観光の発展の将来性と問題点』青山社
- Sofield, Trevor H.B. (1993) “Indigenous Tourism Development” *Annals of Tourism Research Vol.20* pp.729~750
- Sofield, Trevor H.B. (1995) “Indonesia’s National Tourism Development Plan” *Annals of Tourism Research Vol.22* pp.690~694
- Solow, Robert M. (1956) “A Contribution to the Theory of Economic Growth” *Quarterly Journal of Economics Vol.70* pp.65~94
- Szivas, Edith and Michael Riley (1999) “Tourism Employment During Economic

- Transition” *Annals of Tourism Research Vol.26* pp.747~771
- Thomas, Vinod, John Nash and etc. (1991) *Best Practices in Trade Policy Reform*  
Oxford University Press
- Tisdell, Clem (1996) “Ecotourism, Economics, and the Environment: Observations from  
China” *Journal of Travel Research Vol.34 No.4* pp.11~19
- Tisdell, Clem and Jie Wen (1991) “Foreign Tourism as an Element in PR China’s  
Economic Development Strategy” *Tourism Management Mar.1991* pp.55~67
- Tisdell, Clement A. (1995) “Asian Development and Environmental Dilemmas”  
*Contemporary Economic Policy Vol.13* pp.38~49
- Tooman, L.Alex (1997) “Tourism and Development” *Journal of Travel Research Vol.35*  
*No.3* pp.33~40
- Tribe, John (1995) *The Economics of Leisure and Tourism -Environments, Markets and*  
*Impacts-* Butterworth-Heinemann
- Vanhove, N. (1981) “Tourism and Employment” *International Journal of Tourism*  
*Management Sep.1981* pp.162~175
- Vellas, François and Lionel Bécherel (1995) *International Tourism -An Economic*  
*Perspective-* MacMillan Press
- Wahnschafft, Ralph (1982) “Formal and Informal Tourism Sectors -A Case Study in  
Pattaya,Thailand-” *Annals of Tourism Research Vol.9* pp.429~451
- Wanhill, Stephen R.C. (1986) “Which Investment Incentives for Tourism?” *Tourism*  
*Management Mar.1986* pp.2~7
- Wanhill, Stephen R.C. (1994) “Evaluating the Worth of Investment Incentives for  
Tourism Development” *Journal of Travel Research Vol.33 No.2* pp.33~39
- Warr, Peter G. ed. (1993) *The Thai Economy in Transition* Cambridge Uni. Press
- Weiler, Betty and Colin Michael Hall ed. (1992) *Special Interest Tourism* Belhaven  
Press
- Winpenny, J.T. (1982) “Issues in the Identification and Appraisal of Tourism Projects in  
Developing Countries” *Tourism Management Dec.1982* pp.218~221
- Wong, John D. (1996) “The Impact of Tourism on Local Government Expenditures”  
*Growth and Change Vol.27* pp.313~326
- World Bank (1995) *Global Economic Prospects and the Developing Countries 1995*  
World Bank
- World Bank (1995) *Trends in Developing Economies 1995* World Bank

#### タイ語文献

สำนักงานเลขาธิการ คณะกรรมการพัฒนาชนบทและกระจายความเจริญไปสู่ภูมิภาค



(1994) “ผลการดำเนินงาน  
ตามนโยบายพัฒนาชนบทและกระจายความเจริญไปสู่ภูมิภาค ของรัฐบาล ในรอบ 2  
ปี” สำนักงานเลขาธิการ  
คณะกรรมการพัฒนาชนบทและกระจายความเจริญไปสู่ภูมิภาค